第２号様式（第５条、第７条関係）

（表面）

犯罪被害申告書

年　　月　　日

匝瑳市長　　　　　あて

（申告者）住　所

氏　名

　電　話

１　被害の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな |  | |
| 被害者の氏名 |  | |
| 被害者の生年月日 | 年　　月　　日 | |
| 被害者の住所 |  | |
| 被害の発生日時 | 年　　月　　日　　　　　　時　　分頃 | |
| 被害の発生を知った日 | 年　　月　　日 | |
| 被害発生場所 |  | |
| 犯罪被害にかかる罪名  （判明している場合） |  | |
| 犯罪被害の概要 |  | |
| 取扱警察署及び被害届受理番号等 | 都道府県名 |  |
| 警察署名 |  |
| 受理日 | 年　　月　　日 |
| 受理番号 |  |

（裏面）

２　支給除外事由の確認

下記のとおり、支給除外事由に該当しないことを全て確認しました。

|  |
| --- |
| □１　犯罪行為が行われた時において、被害者等と加害者との間に次のいずれかに該当する関係がない。  （１）　夫婦（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にあった場合を含む。）  （２）　直系血族（親子については、縁組の届出をしていないが、事実上養子縁組関係と同様の事情にあった場合を含む。）  （３）　３親等内の親族  （４）　同居の親族  □２　犯罪行為による被害について、被害者等に次のいずれかに該当する行為がない。  （１）　当該犯罪行為を教唆し、又は幇助する行為  （２）　過度の暴行又は脅迫、重大な侮辱等の当該犯罪行為を誘発する行為  （３）　当該犯罪行為に関連する著しく不正な行為  □３　被害者等に次のいずれかに該当する事由がない。  （１）　当該犯罪行為を容認していたこと。  （２）　当該犯罪行為に対する報復として、加害者又はその親族その他の加害者と密接な関係にある者の生命を害し、又は身体に重大な害を加えたこと。  （３）　暴力団員等又は暴力団若しくは暴力団員等と密接な関係を有する者 |

※　傷害見舞金の場合は、被害者本人のみ

３　情報提供の同意

見舞金の支給に必要な警察その他の関係機関が保有する犯罪被害者等の個人情報について、匝瑳市が収集し、提供を受けることへの同意の有無

　□　同意します　　　□　同意しません